

ドゥーラ協会様

このたびの台風19号による被害に対しての皆さまの心温まるご支援、本当にありがとうございました。実際に被災して怒涛の1か月がたちましたが、人のやさしさや温かさを身に染みて感じています。

台風が去って近所の川土手が決壊し、どこもかしこも泥だらけの道をやっとたどり着き家に戻ってみると、床上浸水した自宅・今年4月に購入したばかりの助産所・旧助産所の3か所、水没した4台の車の悲惨な状況を目の当たりにして呆然としました。でも家族も友人知人も人に被害はなかったのも、まあ物は何とかなると開き直って笑ってしまいました。それからが大変。水は出ないし、来る日も来る日も泥かき・後片付けの日々。連日手伝いに被災していない友人や、私が所属しているところの知人が、皆昼食持参で来てくれたので、楽しく肉体労働をしていました。

何日か経った朝、なぜか一度も見たことがない宗さんの夢をみて目が覚めました。東日本大震災後にジェスペールから母子の支援をしていただいた経緯もあり、あのときのことがよみがえったのかもしれません。目覚めてすぐ、懐かしくてメールしました。温かい言葉と、助産所への支援を申し出てくださったので、ありがたくいただくことにしました。本当にありがとうございました。

助産所も車も使えない、訪問バックもない、ないない尽くしの中でもママ達からは相談や乳房トラブルなど相次ぐ問題があり、緊急時は旧助産所を何とか使える状態にして対処したり、児童相談所や病院・保健センターにつないだり e t c。どんな状況でも臨機応変になんとかなるものだとつくづく思いました。

こんな状況でも嬉しいこともたくさんありました。いろいろお見舞いの電話がママ達から寄せられ、話の中で児の体重計もなくなって困っていると話すと、これ使ってくださいと泥がっぱいの道路を通して持ってきてくれたり、床下乾燥のために扇風機や雑巾や掃除道具を持ってきてくれたり、本当に助かりました。

またジェスペールさんが関わっていたころのママが、おっぱいつまりのケアを何回もしてもらったり、ベビママでお世話になったからと、子供たちを送り出した後、9時になると長靴を履いて毎日のように手伝いにきてくれ、また休日は、今は小学生と幼稚園に通っている子供たちもつれて床掃除をしにきてくれました。本当にうれしく、どこかでずっとつながっているんだなと思いました。

現在はやっと家も乾燥してきて消毒も済んだので、リフォーム工事が始まるころまで来ました。まだまだ大変ですが、頑張っていきたいと思います。

お見舞金を送って下さったドゥーラ協会様、マツバラエリカ様、ハヤシリエ様、マキオカ様、ヤマシタカヨコ様、ノギセイコ様、シミズミサコ様、ドゥーラノヒトリ様、コムラミカ様、コイズミリエ様、ワタヒキユウコ様 ありがとうございます。

皆様の支援金、大切に使用させていただきます。

相馬助産所 宮原けい子